

水不身  
石  
心  
石  
一  
川

[illegible]



十二月一日ヨリ  
三十一日まで  
福引景品  
附  
歳暮大賣出  
金漆圓每百  
景品即時引換  
空藏一本五ナ  
京城本町  
九才木屋  
呉服店  
電四八三番







早川貞水口演

A black and white woodblock print illustration of two men in traditional Japanese attire. The man on the right is seated, facing left, holding a long pipe (koto) and a small object. The man on the left is seated, facing right, wearing a patterned robe. They are in a room with a window in the background.

月やく

身體に害なく通極する真法 速に御知ら  
 車神 鐘町三ノ一九 塚田 け

優二良石 鱈

ゆうれうせつけん

東京 野村外吉商店  
大阪 石鹼發賣元

電話(龍山)四番龍黃  
龍山停車場前  
電話二六三七  
以金四丁目  
色活動寫真株式會社計組一可代理店  
光金  
館館

[illegible]

本書は近世講談社會の泰斗たる故の松林伯園、桃川如燕の二人が、  
成、楠泣男、長篠籠城烏居強右衛門、山内一豊の内幕、大関中國引返  
し、伏見地震加藤清正、木村長門守、中山大納言の八種を、その高弟た  
る松林伯知、二代目如燕が更に講演したるものなり。悉く是れ忠烈の  
美談にして、此を讀みて感動せざる者なかるべく、通俗教育の資料と  
して、家庭の讀物として當時此書に勝れる講談なかるべし。

日本武士道  
赤穂義士

(第一編) 堀田安兵衛、大石籬左衛門。  
 (第二編) 堀田新左衛門、三村治郎右衛門、岡島八十右衛門、間重次郎、千鳥三郎兵衛、赤垣源藏、杉野重平夫。  
 (第三編) 前原伊助、橫川勘平、神崎爲五郎、矢頭右衛門七、食橋、草水、藤左衛門、茅野二平、武林祐平。  
 (第四編) 大崎龜吾、原野金右衛門、齋員十郎左衛門、吉田忠左衛門、中村勘助、松村父子、片岡酒造、五右衛門、岡野金右衛門、矢田五郎右衛門、木村岡右衛門。  
 (第五編) 大石內藏之助、近松勘平、間重兵衛父子、菅谷半之丞、小野寺幸右衛門、貝賀彌左衛門、興田父子、小野寺重内、富嶺助右衛門。  
 (第六編) 齋士藏忠錄、赤穂城援、南部坂雪の別れ、泉岳寺評定、討入。

本書は最も信憑すべき資料を基とし、之に貞水獨得の輕妙洒脫の快筆を以て、月雪の中に命を捨て、死處を得たる四十七士の面目を、面可笑しく説きたるもの、平易通俗にして分り易ければ、婦人老幼の物として上乗無二なるのみならず、芳烈悲壯なる言何人を魅して感慨胸に迫り九陽寸斷の思ひあらしむ。本社は通俗教育の好資料にて、之を各階級の家庭に推薦す。希はくは一本を藏せられよ云爾

定價金五十錢  
 郵税金八錢

女義士傳

天下泰平の元祿時代に、我兒を勵まし夫を勵まし、亡君の爲に家來る道を盡さしめたる赤穂浪士の母や妻女は、其時代には新らしい女あつたに相違御座いませんとは、講演者の言ふ所なり、堀部彌兵衛の妻、堀部妙海尼、勘平の姉菊江、瑤泉院、武林唯七の母、赤埴源藏の妻、茅野和助の妻、原惣右衛門の母、間新六の伯母、山岡覺兵衛の妻、良妻かる、以上十一人の賢母節婦が花も實もある、勇ましく面白き物語りにして、女子の鑑として千載に傳ふべき好書なり。

取次所

京城太平通一丁目  
振替京城三〇番

京城日報社代理部

米國ヒュウター會社製  
獸類捕獲器  
壹個 壹圓五十錢

狐、狸、ヌクデ、取器械

仁川濱町  
京日川代理部

模範牛乳  
純粋養分  
太正探肥醫獸主場  
四町東區市京  
場牧亞東  
(廿二五拾電)

優等清酒

本莊酒店

京坂本町四丁目電話六五四〇

鶴

[illegible]

**大陽商船出帆**

○中國國幣奉各通行　開引以て速路切  
發任仕候

別所所航船は、遠近船舶を餘く開運致し  
能の時に五分刻以上で門前停泊せられ候に  
**山本浦**　**釜戸**　**神戶**　**大阪**  
**宮城丸**　十二月四日　七日後出五  
**溫州丸**　十一月三十日  
**木流丸**　十二月二日

鎮南浦、大連行	十二月五日午後二
安智丸	十一月三十日午後出
木浦浦、大板行	十一月廿八日午後五
潮州丸	十一月廿八日午後五
群山、釜山、橫濱行	十二月十九日午後四
千珠丸	十二月八日午後出
テヨイサン	十二月八日午後出
大連行	十二月十四日午後二
千珠丸	十二月十四日午後二

御 藥	神宮丸	大智丸	清津、蒲湖行(元山出帆)
御 藥	地久丸	上海、基隆、打狗行(大連出帆)	仁愛護士講習所
御 藥	高陸丸	十二月十四日	午後三時
御 藥	十二月十七日	午前十一時	
御 藥	十二月十四日	午後三時	
御 藥	十二月十四日	午後三時	

仁川切符發賣所 大阪商船會社支  
電話二卷二二〇番五五  
京城切符發賣所 內國通運會社支  
電話七八〇

[illegible][illegible]

江原丸	大連、青島行	十一月	日仁川發
麗水丸	各港、總局不通行	十一月一日	日仁川發
南陽丸	每日午前	仁川發	
安九丸	十二月十九日	若松發	

[illegible]

**第三國同利**

西曆四月間津沽各港在籍之華民  
十二月二日 月經行

前八時出帆

本號因共同汽船株式會社  
丁巳(電話)〇八番

仁濟井店 山下 回 濱部  
會田(電話)四四七五番

元治川店 六二〇 回 濱部  
南大崎店 六二〇 回 濱部  
京都支店 河村運送占

**船釜山出帆廣告**

小倉丸	十二月十四日發五時出帆
元山號津浦廻行	十二月二日午後十時出帆
小倉丸	十一月廿五日發四時出帆
門司、神戶、大坂行	十一月廿九日發五時出帆
元山、天津、浦鹽行	十二月九日發十時出帆
神丸	十二月九日發十時出帆
元山、西洲津、新津、城津、清津行	十二月一日發九時出帆
第三等平丸	十二月一日發九時出帆

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行  
每月三日九日十六日廿一日廿六日  
午後十時出帆  
大池漕回部



証人の注文取り  
△富田素軒 80

53 | 51

17021 191 12 143 55 1 08 11p 000 210 10 10 191 12

主	(75) 雷炳	59	60	播	81	82	83
---	---------	----	----	---	----	----	----

100

**京日案内**

●普通 一、加納金三十銭(加納部)  
二、加納者一人等、全五銭

●募集 男女事務員及金庫主任  
急募中 ●京城大和町一日四  
八番地 ●朝野密買通商會

●記者反外交員募集 品性高尚な  
諸君來政名採用希望 ●各縣書樓  
來訪吉野の一の六九 元山毎日新

●京城旭町二丁目人口 ちり京旅館  
●電話六九五番 (朝鮮銀行)

入用市内に難賃なる保護人あり當田素然  
に限る。○京城大波門前△富田素然  
○小資本主にて最大有利の好事業あり  
り求其共同出資者希き午前四時來光  
○金貸し一ノ堂九八ノ報光  
○唐戸百人 儲十五四五六兩小學生  
業程希望する市內確實保護人も要す  
○京坂本町二丁目 〃 〃 〃  
●貸家 日本史向渡雲村三室至橋間轉  
官理者 舊龍山印刷局瓦屋中  
●客理者 刺野約納募集 希き者至付居  
込但見取大價値の質費錢還付意旨  
○京都府明治町二電二八九瀬川吉太郎  
○各地に手急ぎ社員を招き月給  
を給付金並薪俸或賃手渡し辭職す  
○京城黄金町一丁目六〇西村  
○日鮮人外人社員募集保證人西  
子附補員並監書携帶帳目人來談あ  
り○京城黃金町一丁目六〇人來談あ  
る○最大有利の好事業あり秘密に至  
同出資者を求む希望者午前四時來  
談あれ黄金町一の壹九八ノ普及

●番 外 一即朝如十餘無知

●火不入 主然發熱 安全炬燵  
●最新式衛生有効 火災の危險

水道事務所前  
水船並に  
洋馬具一式  
草蓆其  
製靴販賣  
京成本町二番町元中島病院  
內科門馬呼  
兒科門馬呼  
京城町治門三丁目(元開町)  
牧場  
牛乳販賣部  
電話三八一八番  
乳製安全配運  
京城南山町一丁目松榮寺隣  
咸安堂藥房  
マツタージ  
各手術は多年學理と實驗の結果九六  
を治するの妙を有す。電話九六  
諸  
ウタイボ  
○亞番本各種及び附屬品全  
京城南山町中川靜松

三益吳服店

**辱** 皇后陛下  
各宮殿下  
**御嘉納**

國民新聞社編定價五十錢郵稅八錢負擔

**理想の家庭**

△理想的家庭 德富猪一郎氏△教育 下田歌子女史△結婚

**京日案内**

●普通 一丁前銀座(千代田區) 二丁目三番 金丸文庫 ●募集 男女事務員及外交員を至急募集す ●京城大和町一丁目四八番地 ●朝鮮或高麗出身者 ●記者及外交員募集 品性高尚なものを他開業者數名採用希望 ●米穀店 ○誠吉町の一六九 元山毎日新聞 ●京城旭町一丁目入口 ●電話 六五九番 たり京旅館 84 (朝鮮銀行行動)



は文明の新智識に乏しき、各地方の  
鮮人をして産業開發の新智識を興へ  
たるのみならず、或は新規に商取引  
を興へしむる者あり。

支那誘引と多數支那人の觀測

北京に於ける有力なる多額の支那人は、聯合國の支那誘引は此の  
際日支の國交を改善する好個の機會を日本に與ふるものなりと觀測しつゝあり元來日本は地理上の關係より他國國に比して支那に於ける商業貿易の活動上遂かに利便を有すものなり北京支那人は此の際兩國當事者の努力に日支兩國間に現存せる相互の不信用を去り其の親交を増し滿蒙に於ける日支兩國の利益の爲め和衷協同するの効果を來すと信じつゝあり北京電報

大會を開き大養總理以下代議士等

四名列席于前十一時開會と共に宣言及び決議を朗讀し滿座異議なく可決第三十七議會に對する黨の態度を<sup>だ</sup>決定し最後犬養總理の演説あり萬歳を三唱して午後二時散會せり

午前十一時上

武式終了後十日間休會を提議すべきを  
院内幹事に推薦し小川幹事長は開院  
に賛同せず、  
院外總務に定め井上啓之助外七名を  
し、  
院外幹事に選出せられた。

○鎮守府所管換

鎮守府の所管たる島根、鳥取、岡山、  
兵庫、徳島、高松、香川の各地方を  
鎮守府が所管する。以上六府を

會

同志會にては廿八日午前十時半より本部に議員總會を開き院內總務及幹事は總理に一任に決し正午散會せり  
(東京電)

○獨軍斷念

獨軍は越えて三日獨軍は力方

1000

山東城沿泉町

軒あり昌樂には小敷の邦人居住すれ  
 從はて王ノ小山草

は文明の新智識に乏しき、各地方の  
鮮人をして産業開發の新智識を興へ  
たるのみならず、或は新規に商取引  
を興へしむる者あり。

正二年初以來、朝鮮生産物の大宗たる米穀は、價格漸落の趨勢を持續し來りたるのみならず、或は皇太后御崩の不幸に逢ひ、或は歐洲動亂の響を受け、終には内地財界不安の餘に米價は大正元年に於て餘り低減せられ、京城市街地價の消沈と共に購買力の減退、賣却の不能を惹起し、至るこの結果を報道するところあらんとす

復興し、すくは少くも日常の生活資料は

於ては倒産破産者輩の出の不幸事を  
 るべき豫想を爲す者尠からざる  
 しに、九月中旬より當地に於て開  
 せられたる始政五年朝鮮記念物産  
 博覧會は、諸種の大會と共に鮮産  
 品は勿論、内地の多量の觀衆を  
 誘致し、不振の底に沈淪せる我が  
 城の市況をして、服膺ならしめたる  
 京城經濟界の爲めに展覽に堪へ  
 ることなら、或は曰く共進會  
 催中は一時のお客盛を見るも  
 實利し、少くも日常の生活資料は  
 を便宜し、連に朝鮮品に於ける製  
 業を充たすの最も要なるを認め、  
 従來其指導監督に努力する所あり、  
 即ち中央試驗所及び工業傳習所に於  
 て各種産業に關する試験及び工業の  
 振興を行ふの外各地に於て篤志家  
 企畫せる各種の工業傳習事業又は  
 望なる工業にして創業の降收支和  
 上能はざるものに對しては或は金  
 を補助し、或は時々技術者を派遣

は器具の改善、技術の改良漸次進

したる今日に於て、之を開會前反  
 前年の同期に比較對照して、一般  
 況は數段の好況を呈する事實あ  
 尙本年末に於ても亦前年の其れ  
 比し市況盛衰を呈すべく、結末は  
 期を過ぎ、來年の開水期に於ては  
 漸次一層の好況を見るに至るべし  
 等々、其進會の京城經濟界に及ばし  
 る直接の影響とす、而して開會中  
 半島十三道の各地より多數の觀察  
 記者を吸引したると同時に、内地

には器具の改善、技術の改良、水次  
 及胡椒產布の面目將に一掃せん  
 とし、棉織、絲に棉織開業の發達と  
 に平安北道に於ける有望なる事業  
 一となり、其他黨業、製紙等に於ても  
 進歩の點見る可きものあり、且つて一  
 般工業思想の普及に伴ひ、民衆の自  
 は斯業發展の道途を促し、製業の自  
 草、釜製業、荳荳製業、煙  
 造業、黨業其他各種の工業其設備  
 たる組織を以て事業を經營するもの

實業界知名人士等は、  
 實業に就いての調査を兼ねて入  
 り、  
 として之を道別として示せば、京畿二府

花の樂園と萬歳の聲  
 子爵李埏鎔氏謹談  
 私に貴族總代の一人として御大典  
 盛儀に參列の榮を得ました。行き  
 けられども京都に著きまじし頃、は  
 列することを得たのは誠に光榮  
 唯萬歲萬歲で、十日の朝  
 から私共の引揚げる時まで雲となく  
 夜また萬歳の聲で充たされて居  
 ました。それに又、行列の進行  
 行列や、假裝行列等の盛な  
 等、到底想像も及ばぬ處であり

斯かる崇高な御儀式は復とあ  
したが、それは／＼比べものになら

ますまい、一番威ましたのは誰  
 の熱で、老となく、少となく、  
 ねえ、涙と花と、春燈と燈籠とが相映  
 して、金と不夜城、火の世界、花の熱  
 けを現出して、居りました

百、設する所あり、大正三年八月には各  
郡に設立せる洞契の規約中に麻布製  
靴に別々に見せしむるを以て、

威北千二百圓にして其内最も多  
 なる京畿道は機業、鑒業、製紙業  
 工業、相柳竹細工業等數種に亘れ  
 も之れに次ぐ忠清は一に布布の改  
 事業にして慶北は機業及び製糸業  
 南は貝貝工、機業、製糸、木金工業  
 南は機業、製紙、窯業、木竹石器業  
 補助なり

亭麻製織の改良

法、尺幅を一定し且つ製品の検査  
 行ひ之れに合格するに非ざれば販賣  
 することを許さざらしめ他何に於ては  
 改良器具の普及を圖つてゐるが其  
 結果亦大に見る可きものあり

大連と内地炭

目下大連に於ける蘭炭炭は市場小賣  
 八圓三十錢、卸七圓八十錢なるが歐洲  
 戦争の爲め内地炭の下落せる現在に

又慶北、咸北は麻布の特産地

又、慶北、咸北は麻布の特産地として其の名産額がからすこと、取上の悪價は、裏品の粗製を誇らし尺幅は區々として一定せず價格大亂雜にして漸次支那産麻布に壓せらるゝの狀況にして鮮内の物産用上遺憾がからざりしを以て總伯に於ては之が改良に著目し先づ忠實なる改良を企圖して技術員を養成し懲罰を課せしむる所あり、良品の販賣に付き適當の方法を缺かば懲罰の如くなりざりしが明治四

十六年二月二十五日大連特免埠頭に於ては、價格一塊六圓三十錢切込、五圓三十錢位にして、品質良好にして強かに耐え用者に大に多き檢査なり之れに對し、需價を低くして、所家の業質の劣前を恐れ古河出張所に對して強硬の諷刺を讀み古河に於て亦大満鐵會社に對して種々の商取引あるを以て其抗議を讀みし東京本店に向け訓令を仰ぎたる趣たるが、多分今年國内に、有餘輸入の計策を廢するのみならず、民間則に於ては滿

尺幅の統一  
次で製網法

良を指導せしむることゝし其買収  
 破産しては從來弊害最も多かりし居  
 の手を介せず地方金融組合に於て  
 少の手續料を以て之を免らしし人  
 交付するの手續と爲したるに當業  
 は漸次改良する有利益なるを  
 是の製鐵廠に從事する者大に増加  
 守布改良の成績見れるものあるに  
 又守布製鐵廠の景氣良好なる  
 及び貯蓄の價格騰貴するに至  
 る者あるが如しと大進

共進會の仁川經濟界に及ぼせる影響

通貨の影響最も大

朝鮮解放五周年記念共進會が京城に開  
 催中仁川にも國營銀行の水原館開設  
 及び其時宜に適合したる地理的好  
 位置を占めた爲め市中一般の繁盛を  
 極め人衆引立ち久し振りに仁川の繁  
 榮を起はしめ大成功に閉會したる

れども大正二年夏季に於ては暑

年の如く甚しからず、實行面白から  
 りしと、又前取敗人への資金の關  
 上機關の如き成算を擧ぐるを得ざ  
 しを以て地方當局反て同業者間  
 を以て種々諒解の結果、其土地に  
 を改正し、大正三年、從土に字  
 節川、扶餘、保安、靑陽の四郡に字  
 同業組合を設け、儲蓄組合相互の氣  
 を通じ、業務統一を計らむが爲め  
 南字有組合聯合會を組織し、此機  
 に於て製品の検査會、製品の共同販  
 賣に於て原料の兵司購入を許さる。

公債預金	二七、〇八七・七	三三、二六九・〇
定期預金	二七、〇八七・七	三三、二六九・〇
特別預金	七、〇六四・二	八、四四七・〇
通知預金	一六、七五二・〇	一八、九四七・〇
支引預金	二七、二二五・〇	三三、八九六・〇
合計	一〇、六三二・五	一五、一八七・〇

此れに由つて觀るに總殘高に於て本  
 年は前年に比し九萬四千餘圓の減少  
 を來せし、詳言すれば定期預金に於て  
 は三萬五千餘圓の増加を示したるも  
 當座預金に於て八萬二千餘圓通知預

本年十月末殘金總額に於て、前年同月  
 の比とを比較し見るに、次の如し

前年十月末殘金總額	一〇、六三二・五
本年十月末殘金總額	一五、一八七・〇

く良好なるを以て慶北及び咸北

布に就きては亦其改良増加を圖り  
爲め慶北に於ては大正二年六月  
時に厚布改良商業組合を設立し忠  
するときは必しも然らず定期預金に  
於て三萬五千圓の増加は圓滑に  
せる金融緩漫の反映と云ふ可きも當  
所と糯米委託契約に付て交渉中なり  
しが此項一切の進捗成りしを以て愈  
々米の買付けに着手するところなり

◎今般開店披露とし  
◎景品附正月

於ては前年と何等軒輕なまきものと  
 工事を得可く其進會の影響は死ん  
 ぶるものとなし馳せて之を需むる  
 商人に非ざる一般市民の貯蓄機關  
 特別當座預金に就きて見るとき  
 相々消息を通知し得べし(米)

人事消息  
 島原修武(現道技師) 廿八日入京木太盤  
 山賀長(金井技師) 同上八坂館留  
 山賀長(金井技師) 同上八坂館留  
 原盛七(動物園技師) 同上  
 山賀長(金井技師) 同上  
 山賀長(金井技師) 同上

製造元とのやくそく  
 砂糖、麥粉、荳、金市、燐石、  
 錫、紙、乾肉、雜貨、セーブル  
 他、御葡萄酒、清酒、醬油、染料  
 他、日鮮入向雜貨食料品  
 割の安い品そろ

品を進呈す  
 前本店二目一登記  
 乃木

南滿の鮮人  
(完)

●南滿の鮮人(完)  
移住増加の方法如何  
支那人との折合  
支那人と鮮人との調和は比較的  
に容易にして日支人間に紛擾絶えざる  
を自ら其軌を異にするが如し其理  
とす所のは  
支那人は人を遇する能く弱者を以て之を  
保護せんと欲し鮮人亦人に甘んじて反抗的  
の氣は從來支那に對し政治上手藝を有せ  
ざるものにして是故され支吾民の忌避を免れず  
鮮人は未開民を開發するが如く支那人に適

酒清等優

京都三越吳服店前へ入る惣

佐々木小

鮮人移住の將來

朝鮮人移住の將來

宋卿鮮人が滿洲へ移住せし所以は、國籍上土地地方の如き支那の如き其の土著人種と違ひて而も土著と成りて鮮人の土著民族の原始的順民に適合せること鮮人は本邦に先づ順民の特長を有せず而も之に適合せる耕地を御安に滿洲内に移住し得たること鮮人は已に支那人と共同生活をするに嫌はらざるのこと

諸原因によりて約二十五六萬の人口を移住し得たりと雖も此處一兩府移民の發展せざる理由は大凡左の如くなるべし

支那居留民は舊來の自由なかり結集安

支店出張所

東京、大阪、神戶、横濱、新嘉坡、安南

右ノ外内外主要ノ地ニ

電報


京 城

確實親切ニ取扱申

朝

に今回の日支新條約により土地

自由に移住營業の權利を得  
 果日本官憲の保護も必ずしも一層  
 又東蒙古地方にも新  
 地を得たるべければ今後の移民  
 にも有望ならず云々可らず  
 由來鮮人の努力と智  
 然れども一般の農商業に於ては支那人と  
 得ざるが故に成るべく支那勞  
 争を競争せざる基礎の下に移住す  
 便宜とすべし即ち土著人の少  
 地に集團的移住を爲して新天地  
 を開拓するが如きは小作方法を以て

銚子港 田中玄  


問題の解決するには特殊の金

區劃の後添を要するは論を俟たす

味總督府公文總附添付

を結べる大區劃案此より第一に除せる臺灣米の產地市況には相當の反響を與ふるに至らんかと云ふ

建四圍の相狀にて觀察會社戸

六

酒清等優

京都三越吳服店前（入る地町四丁目）  
電話 醫院 一三〇四番  
自宅 八八〇番

池田季雄

イケダ小兒病内科醫院

富安本店


富安京支店

京都永樂町二丁目  
發賣元

富安京支店

電話一〇三九番  
振替口座四三九九番



當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務  
 ナ確實親切ニ取扱申候  
 京 城  
  
 朝 鮮 銀 行  
 振替貯金口座 京城三三三番  
 電話 四三三三、一四三三、一六二二、一六二二  
 支店出張所  
 東京、大阪、平塚、元山、大邱、釜山  
 鎮南浦、群山、羅南、會寧  
 新義州、安東縣、奉天、大連、長春  
 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

鑄子港 田中玄蕃 釀造

山手白米

廣島市平田屋町 (電話六五番)  
山脇喜久二  
▲見本御申越次第無代送呈  
東京堀越口庄一五六六番

田中玄蕃

代理店 櫻正宗 發賣元  
山邑 京城支店

京城明治町一丁目  
電話八四九番  
振替貯金京城七五番

六月午前十時二十分  
歸東の途に就きたり在京都市  
平田周子其他







